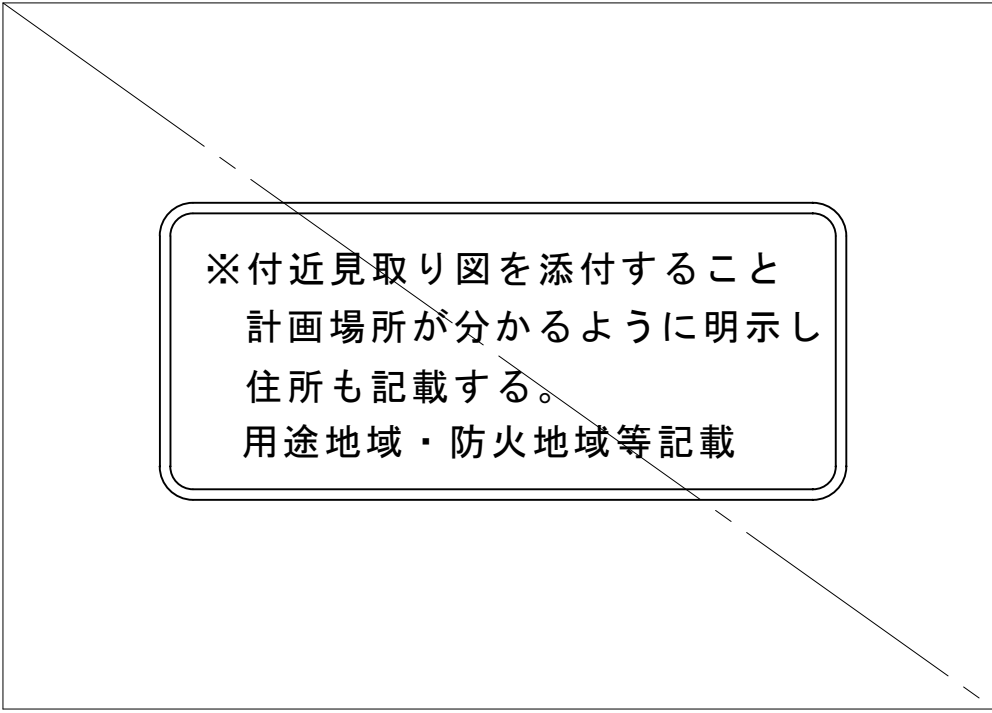
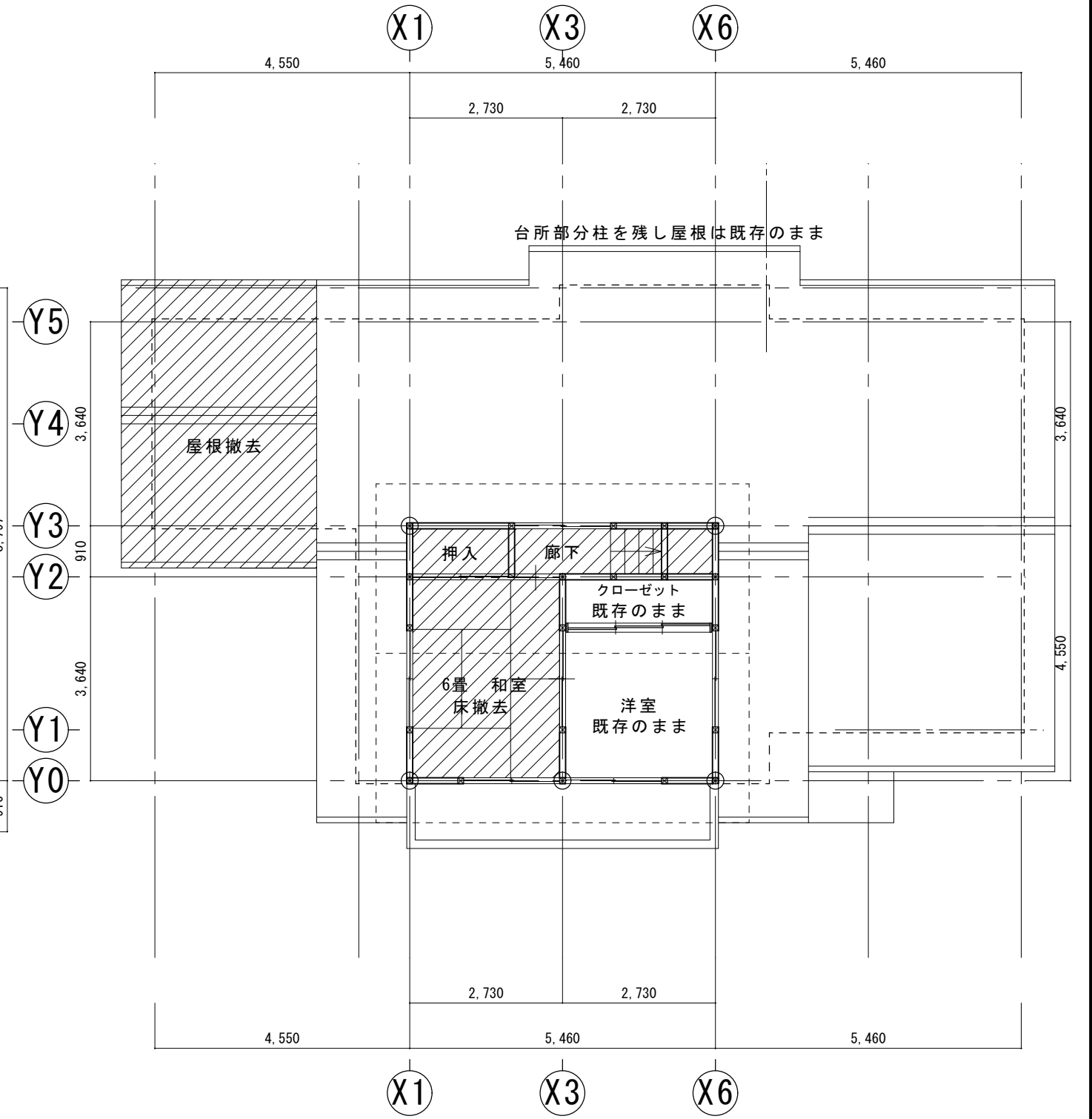
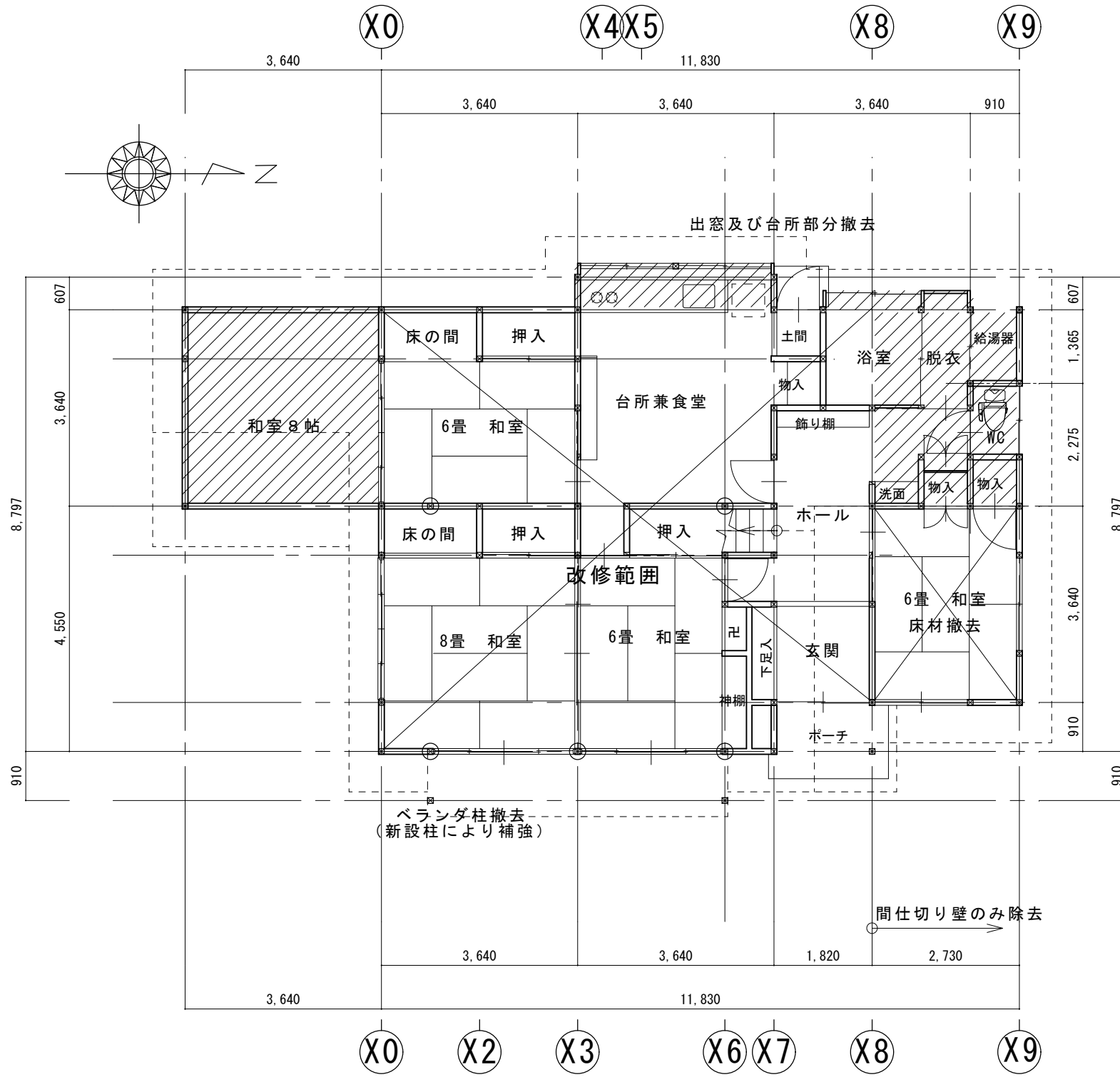


改修後配置図 S=1:100



付近見取り図 S=1:2500程度

工事名	〇〇邸断熱改修工事	〇〇〇工務店	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
備考		一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	日付	配置図・付近見取り図	A-01
						縮尺 1:100、1:2500	



除去部分

1階平面図 S = 1 : 100

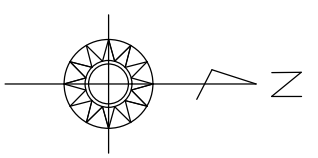
2階平面図 S = 1 : 100

1階床面積 110.28 m<sup>2</sup> (33.4坪)  
 2階床面積 24.84 m<sup>2</sup> (7.5坪)  
 延べ床面積 135.12 m<sup>2</sup> (40.9坪)

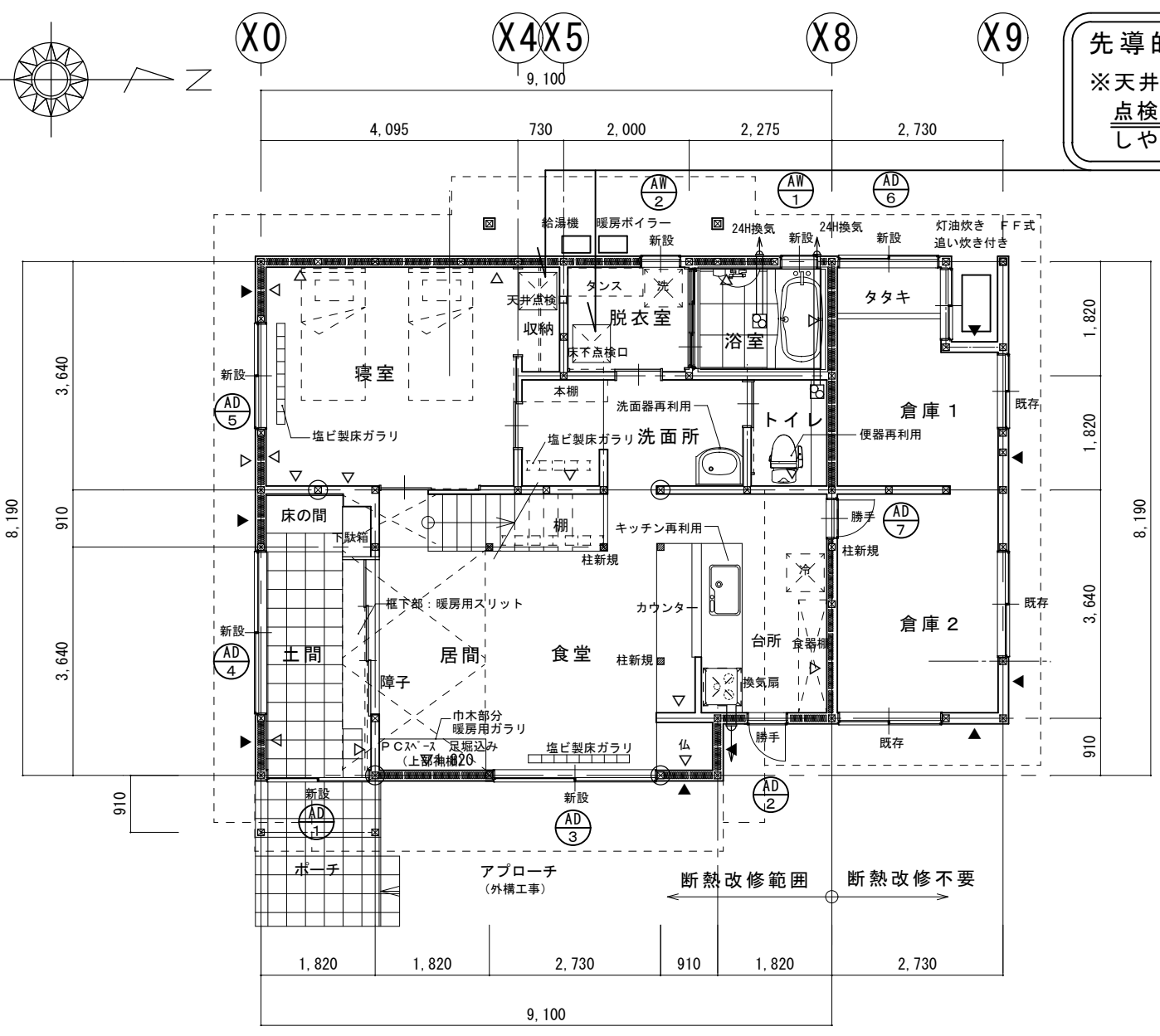
先導的提案項目

※施工前の調査：外壁下部30~40cm程度切り取り、横列に開け  
 土台柱部の木材腐朽、蟻害の検査を行い被害箇所の補修を行う事

工事名	〇〇邸断熱改修工事	管理者	〇〇〇工務店	設計者	担当者	図面名	現況平面図	図面NO	A-02
備考		日付	一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	縮尺	1 : 100		

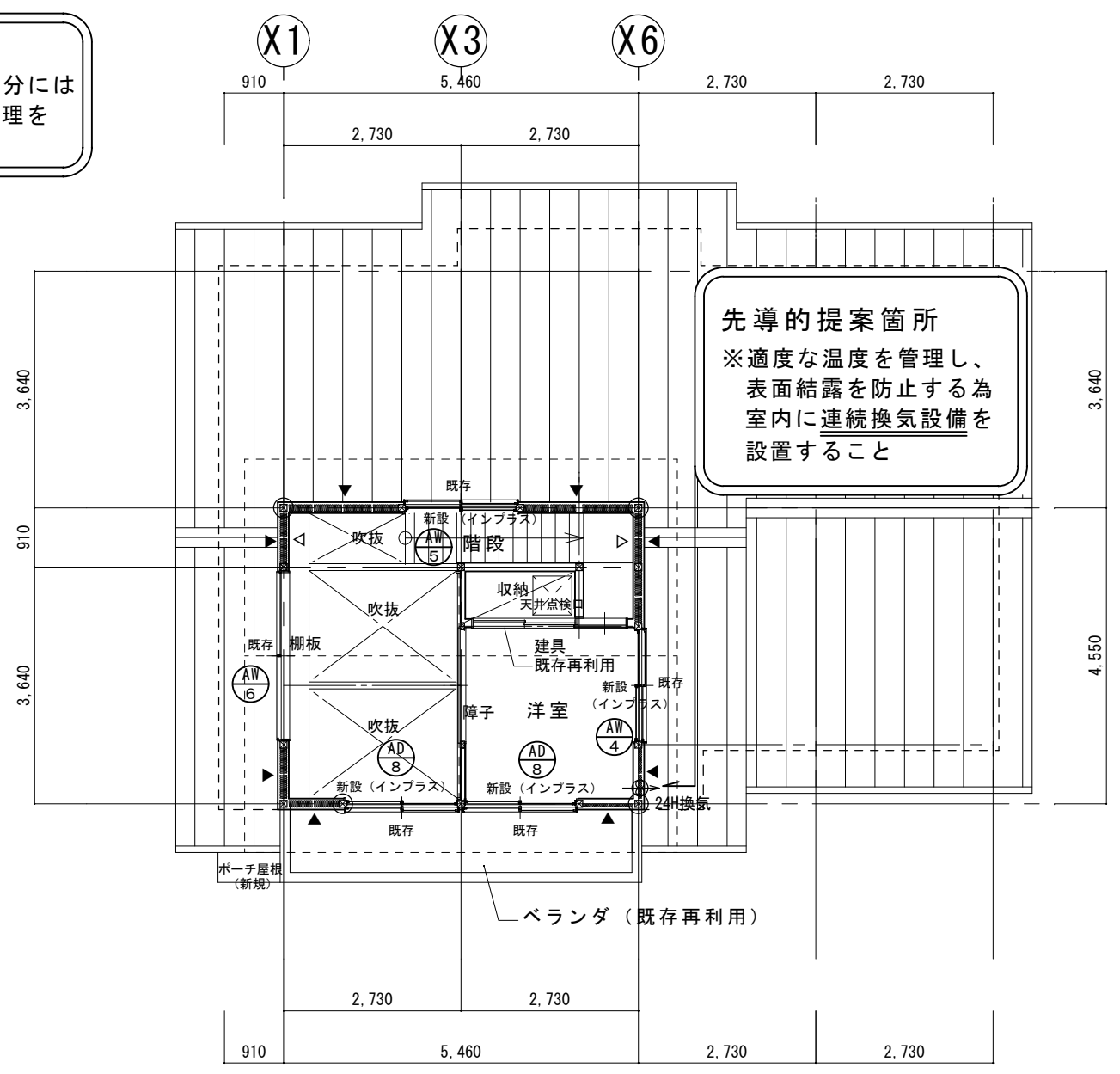


先導的提案箇所  
 ※天井・床の改修部分には  
点検口を設け、管理を  
 しやすくすること



1階平面図 S = 1 : 100

先導的提案箇所  
 ※仕上表を作成し、  
 外装材・断熱材等を  
 明示すること



先導的提案箇所  
 ※適度な温度を管理し、  
 表面結露を防止する為  
 室内に連続換気設備を  
 設置すること

2階平面図 S = 1 : 100

1階床面積 91.50 m<sup>2</sup> (27.7坪)・・・外物置(18.63m<sup>2</sup>)含む  
 2階床面積 24.84 m<sup>2</sup> (7.5坪)・・・吹抜け(7.58m<sup>2</sup>)含む  
 延べ床面積 116.34 m<sup>2</sup> (35.2坪)

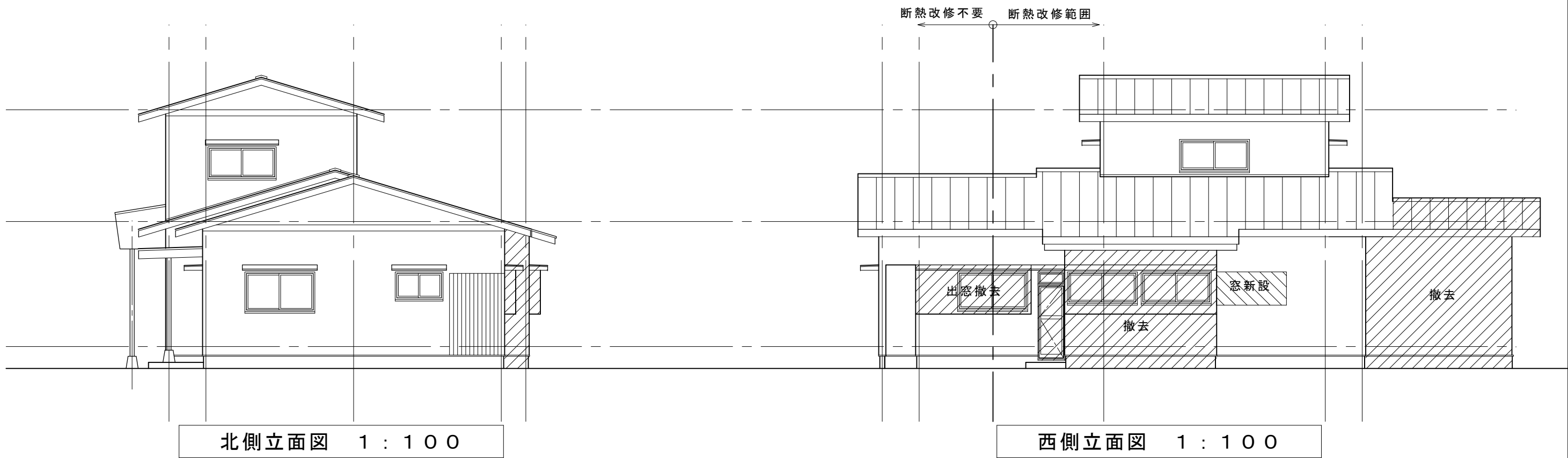
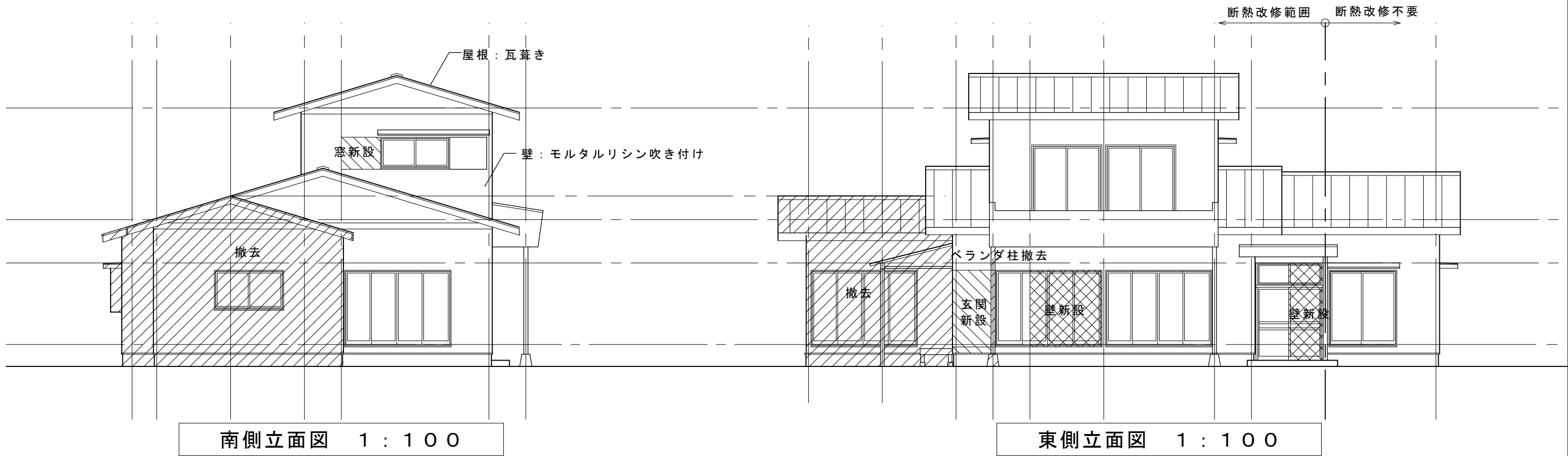
凡 例

▽	構造用合板 t = 9.0
▼	45 × 90 角の木材

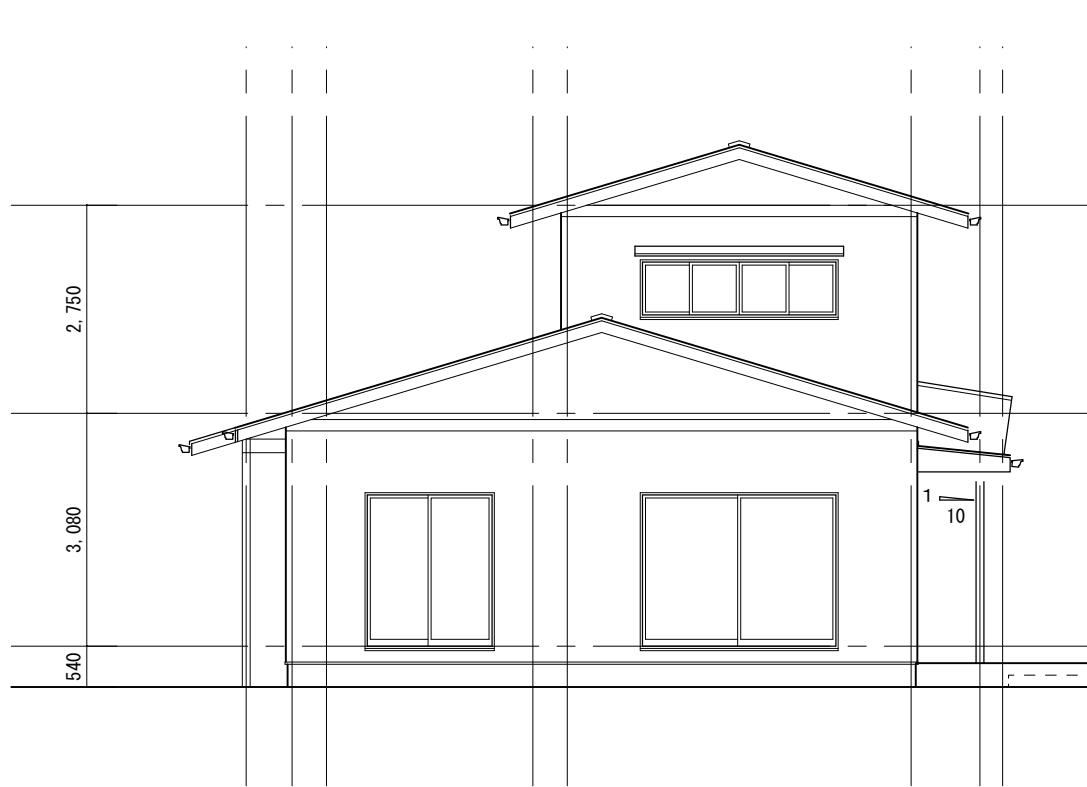
外部仕上表

屋根	既存のまま：瓦葺き（南側一部撤去）	ベランダ	再利用（防水部分補修）
外壁（1）	既存のまま：モルタルリシン吹き付け（立面図参照）	樋	既存のまま
外壁（2）	透湿防風シート（巾=3,000）貼り ラスモルタル下地 吹き付け塗装仕上げ	断熱材	外壁：高性能グラスウールφ100、屋根：高性能グラスウールφ200 基礎外周内側：押出法ポリスチレンB類3種 φ50
開口部	アルミ製断熱サッシ（内部樹脂製）・断熱玄関ドア（次世代基準対応）	気密材	外気に面した壁・天井面：ポリスチレンフィルム T=0.2、 ブチルゴム系テープ止め
軒天	既存のまま：ケイカル板		
根廻り	既存のまま（基礎内側断熱）床下換気口撤去		
ポーチ	タイル貼り（コンクリートφ120、ワイヤーメッシュ、砂利 φ100） 屋根：ガルバニウム鋼板縦ハゼ葺き、軒天：ケイカル板	雑工事	表札、郵便受け、物干金物、カーテンレール、外構工事別途

工事名	〇〇邸断熱改修工事	管理者	〇〇〇工務店	設計者	担当者	図面名	改修平面図	図面No	A-03
備考		日付	一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	縮尺	1 : 100		



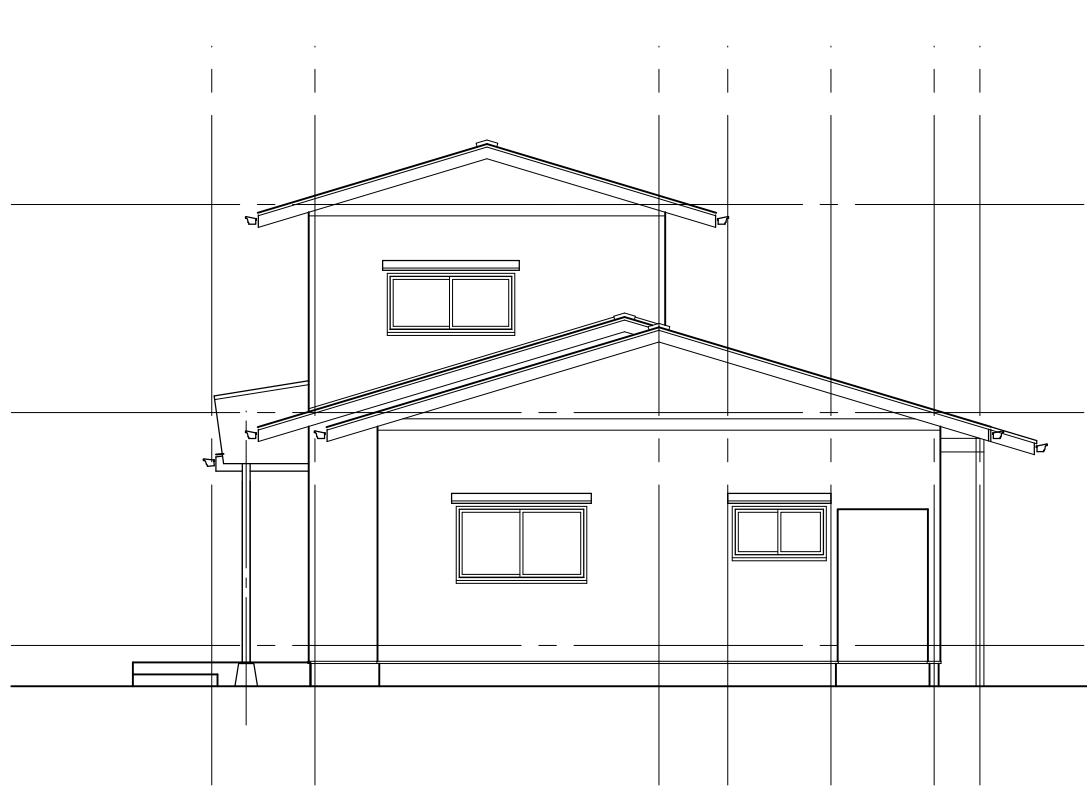
工事名	〇〇邸断熱改修工事	管理者	〇〇〇工務店	設計者	担当者	図面名	既存立面図	図面NO	〇〇〇〇号
備考		日付	一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	縮尺	1:100	A-04	



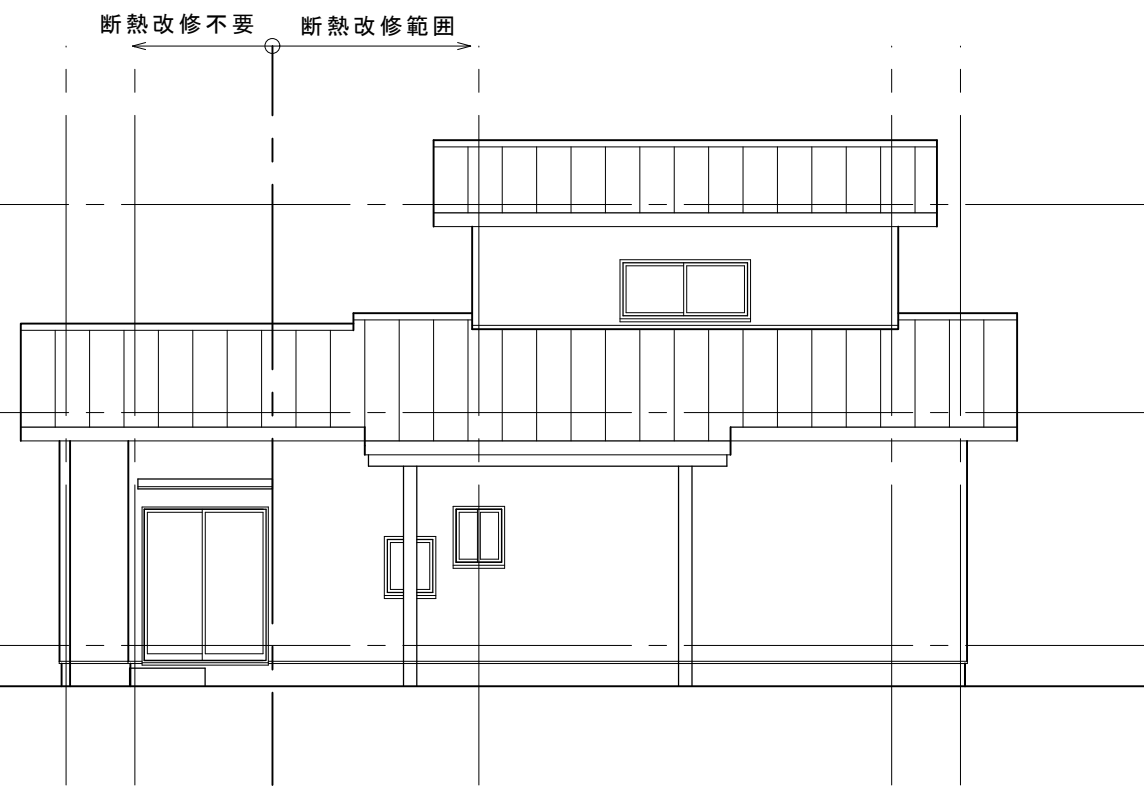
南側立面図 1 : 1 0 0



東側立面図 1 : 1 0 0

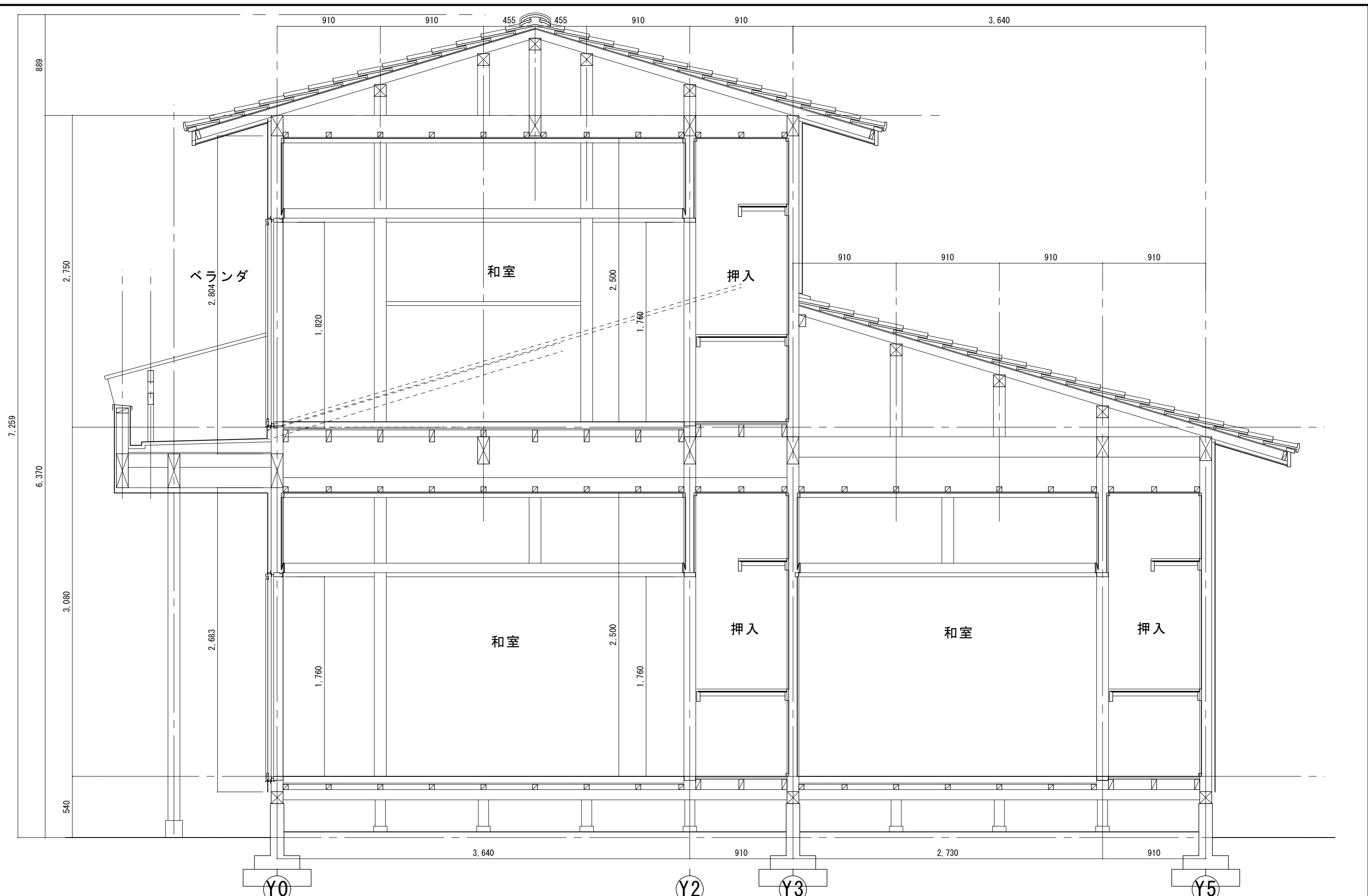


北側立面図 1 : 1 0 0

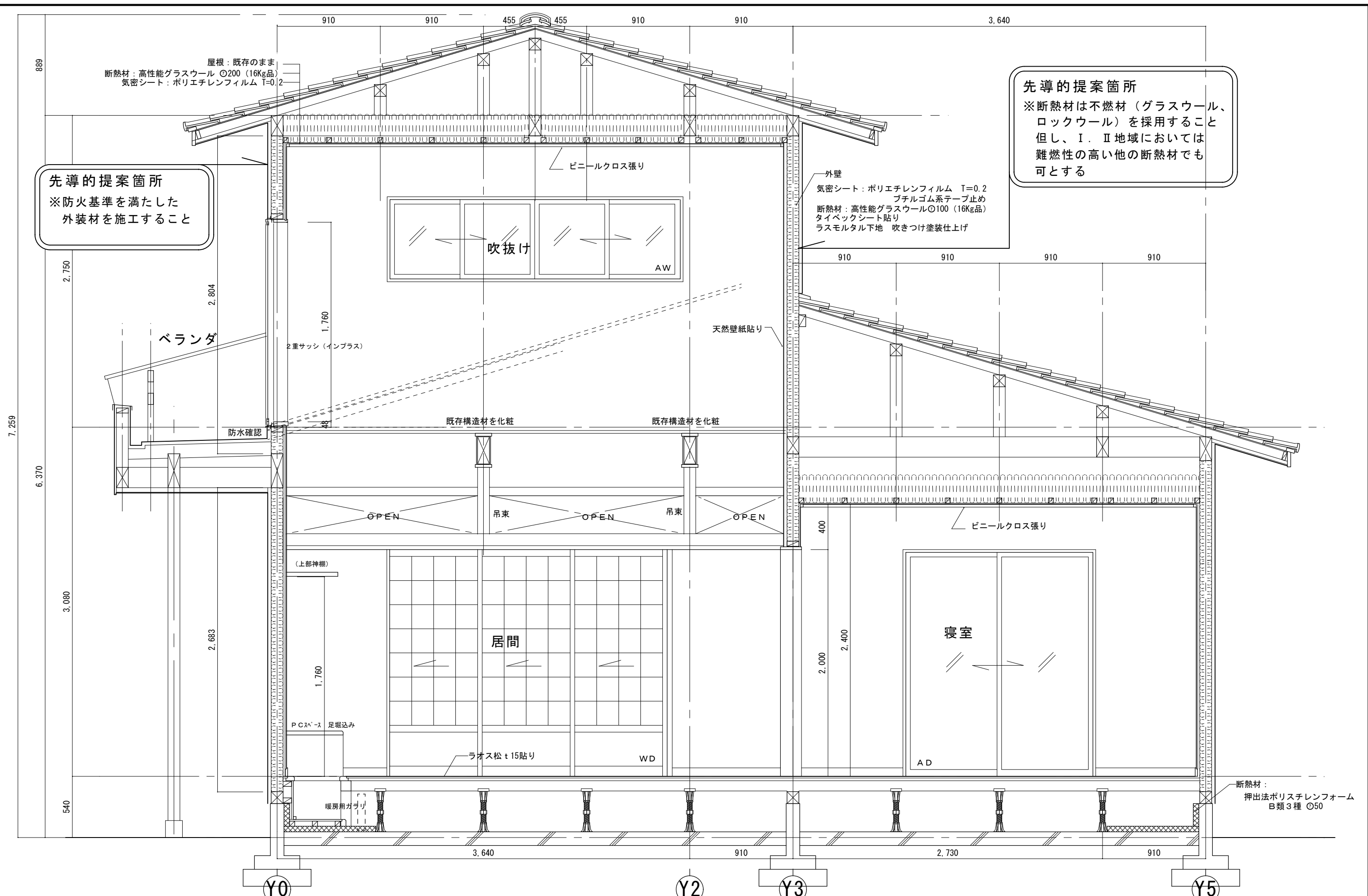


西側立面図 1 : 1 0 0

工事名	〇〇邸断熱改修工事	〇〇〇工務店	管理者	設計者	担当者	図面名	改修立面図	図面NO	A-05
備考		一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	日付	縮尺	1 : 1 0 0		



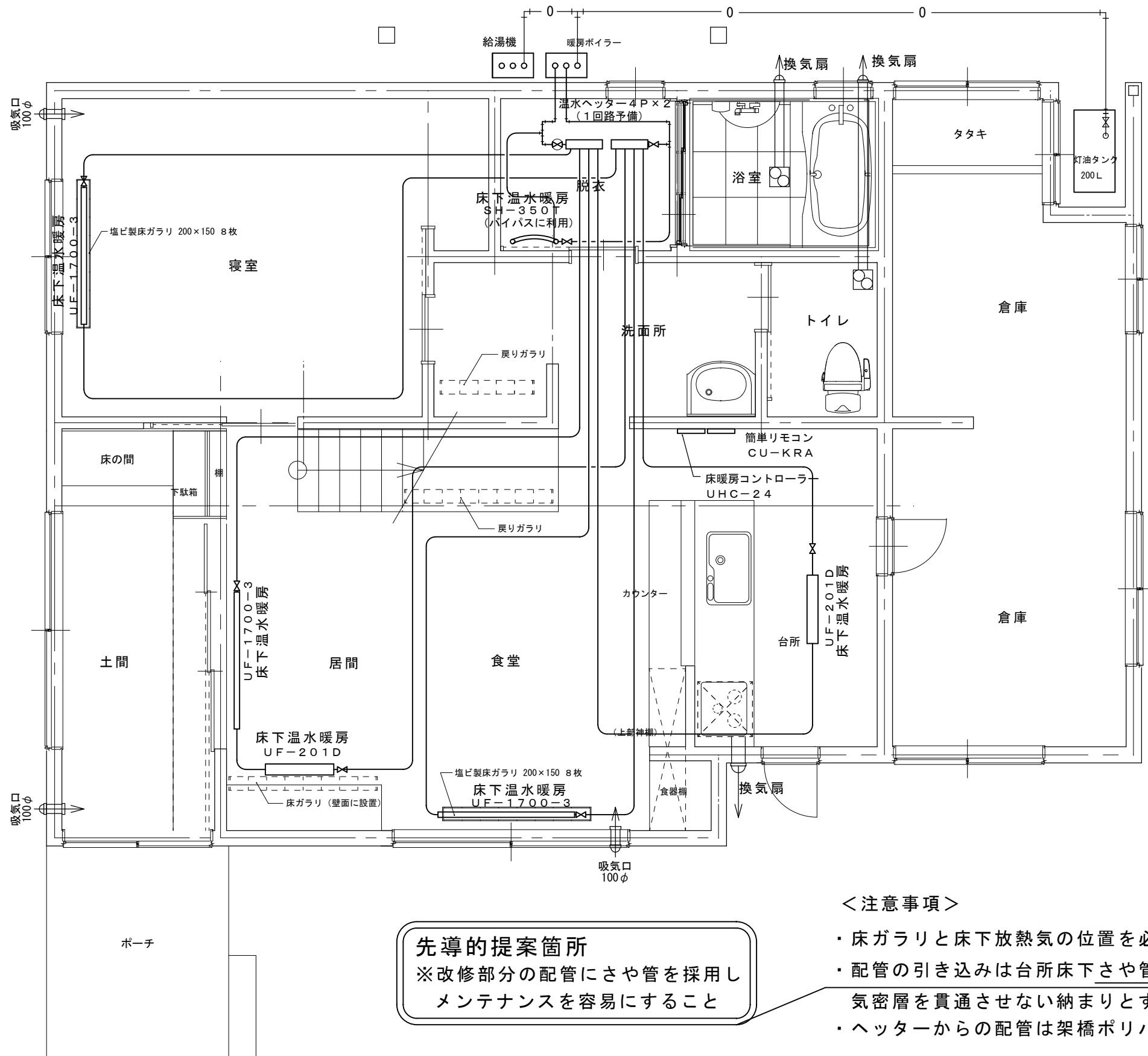
工事名 ○ ○ 邸 断 熱 改 修 工 事	○ ○ ○ 工 務 店 一 級 建 築 士 第 ○ ○ ○ ○ 号 山 田 太 郎	管理者 日 付	設計者 日 付	担当者 日 付	図面名 既 存 矩 計 図	図面NO A - 0 6
					縮 尺 1 : 3 0	



先導的提案箇所  
 ※防火基準を満たした  
 外装材を施工すること

先導的提案箇所  
 ※断熱材は不燃材（グラスウール、  
 ロックウール）を採用すること  
 但し、Ⅰ、Ⅱ地域においては  
 難燃性の高い他の断熱材でも  
 可とする

工事名	〇〇邸断熱改修工事	管理者	〇〇〇工務店	設計者	担当者	図面名	改修後矩計図	図面NO	A-07
備考		日付	一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	縮尺	1:30		



**先導的提案箇所**  
 ※改修部分の配管にさや管を採用し  
 メンテナンスを容易にすること

＜注意事項＞

- ・床ガラリと床下放熱気の位置を必ず揃える事。
- ・配管の引き込みは台所床下さや管を利用し、  
気密層を貫通させない納まりとする事。
- ・ヘッターからの配管は架橋ポリパイプとする。

工事名	〇〇邸断熱改修工事	管理者	〇〇〇工務店	設計者	担当者	図面名	1階暖房設備図	図面NO	A-13
備考		日付	一級建築士 第〇〇〇〇号 山田太郎	日付	日付	縮尺	1:50		